

## 【目次】

1. 企画展「総同盟結成70年—いま労働組合主義について考える」がオープン、6月6日！
2. 大木明石氏を招き第9回政治・社会運動史研究会を開く、6月13日！
3. 「日本の労働映画百選」記念シンポジウムと映画上映会に参加、6月11日！
4. 総同盟の会の皆さんが企画展「総同盟結成から70年」を見学、6月10日！

## 1. 企画展「総同盟結成70年—いま労働組合主義について考える」がオープン、6月6日！

友愛労働歴史館は6月6日（月）、企画展「総同盟結成から70年—いま労働組合主義について考える—」（2016.06.06～2016.12.22）をオープンいたしました。



企画展「総同盟結成70年」は、「第1部 総同盟（戦前・戦後）」を中心とした日本労働運動略史—友愛会・総同盟から連合へ—、「第2部 労働組合主義とは—ウエップ、レーニン、齋藤健一の労働組合論—」、「第3部 労働組合主義の限界と民主的労働運動」の三部構成で、ポイントは戦前の論客・齋藤健一（左）と、戦後の民主的労働運動の理論的指導者・川崎堅雄（右）を取り上げ、

その労働組合論・労働組合主義論について紹介しているところです。



「第1部 総同盟（戦前・戦後）」を中心とした日本労働運動略史—友愛会・総同盟から連合へ—では、1912（大正元）年に創立された友愛会が総同盟・全労会議・同盟を経て、1987年に民間連合となり、さらに1989年に官民統一連合（日本労働組合総連合会）へと発展した日本労働運動略史を、総同盟（戦前・戦後）を中心に概観し、紹介・解説しています。



「第2部 労働組合主義とは」では英国のシドニー・ウエップとビアトリス・ウエップ夫妻やソ連のウラジミール・レーニン、さらに総同盟（戦前）の齋藤健一の労働組合論に言及しています。特に労働組合の経済行動と政治行動を峻別した齋藤健一の労働組合論を紹介しています。



「第3部 労働組合主義の限界と民主的労働運動」では、総同盟の「民主的労働組合主義」と同盟の「民主的労働運動」について、総同盟（戦後）・全労会議・同盟資料に言及しつつ、ポイントを民主的労働運動の理論的指導者・川崎堅雄に絞り、彼の労働組合論や労働組合主義論を紹介・解説しています。

## 2. 大木明石氏を招き第9回政治・社会運動史研究会を開く、6月13日！

友愛労働歴史館は6月13日（月）午後、第9回政治・社会運動史研究会を開催しました。同会は、友愛労働歴史館の調査・研究活動の一環として設置したもので、「日本の民主的社会主義

政党、並びにそれと関連する社会運動史の調査・研究」が目的です。



第9回研究会は元一般同盟会長・前労使関係研究協会会長の大木明石氏を報告者に同日15:00~17:00の間、当歴史館研修室において共通テーマ「民社党時代を語る」で開催。報告者の大木明石氏は労働運動一筋に生きる中、社会党右派や民社党の活動に参加した方で、今回の研究会では「労働運動の立場」から民社党論を語っていただきました。

研究会では司会者から予め提出されていた質問項目に基づき大木明石氏が1時間30分に亘って報告を行い、その後に質疑・意見交換を行いました（詳細は略）。

大木明石氏は、昭和11（1936）年生まれで千葉県出身。昭和31年に総同盟東京都連合会に入り、労働運動をスタート。その後、東京同盟・東京一般同盟結成に参画し、1989年に一般同盟会長、1990年に連合副会長に就任。2002年にはUIゼンセン同盟結成に参画しています。また、財団法人日本労働会館理事や労使関係研究協会会長などを歴任しています。

### 3. 「日本の労働映画百選」記念シンポジウムと映画上映会に参加、6月11日！



NPO法人働く文化ネット主催の「日本の労働映画百選」記念シンポジウムと映画上映会が6月11日、連合会館において開催されました。シンポジウムではパネルディスカッション「日本労働映画の一世紀」（詳細略）が行われ、その後、映画「にあんちゃん」が上映されました。

発表された「日本の労働映画百選」は、NPO法人働く文化ネット労働映画百選選考委員会が選考したもので、100本の映画の中には「川崎三菱労働争議」、「海に生きる」「蟹工船」「太陽のない町」などが含まれています。しかし、労働映画のイメージから離れた一般の劇場映画も数多く選考されていました。例えば「男はつらいよ」「魔女の宅急便」「船を編む」「下町ロケット」などです。

「日本の労働映画百選」一覧表の冒頭には、「映画は日本の仕事と暮らし、働く人たちの悩みと希望、働くことの意義と喜びをどのように描いてきたのか。働くことの今とこれからについて考えるために、一世紀余の映画史の中から百本を選びました」と記述されています。

### 4. 総同盟の会の皆さんが企画展「総同盟結成から70年」を見学、6月10日！

旧総同盟本部や同傘下組織で活躍していた人たちが組織する「総同盟の会（大木明石会長）」の皆さんが6月10日午前、友愛労働歴史館を訪問し、開催中の企画展「総同盟結成から70年—いま労働組合主義について考える—」（2016.06.06~2016.12.22）を見学されました。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」



発行：友愛労働歴史館 責任者：徳田 孝蔵 担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F Tel050-3473-5325

Eメール [yuirodorekishikan@rodokaikan.org](mailto:yuirodorekishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuirodorekishikan.com>

惟一館から122年、友愛会から104年